

名古屋市芸術創造センター

2024年 7月 イベントスケジュール

[2024 年 6 月 1 日現在]

	催し物名	開催時間	問い合わせ先	入場料
6 (土)	超・極上 ナゴヤカブキ	17:00～	カブキカフェナゴヤ座	一般 5,500 円 友の会 5,000 円 (全自由席)
7 (日)	「GANKUTSU-O -復讐の鎮魂歌-」	12:00～ 17:00～	080-4223-7583	
12 (金)	まらしい「幻想遊戯演奏会 2024」	19:00～21:00	東海テレビチケットセンター 052-951-9104	前売 6,000 円 当日 6,500 円 (全指定席)
14 (日)	琴城流コンサート	12:00～16:30	琴城会本部 052-419-5750	無料 (全自由席)
15 (月・祝)	第 36 回 ステップ・ワークスバレエ サマーコンサート	17:30～20:30	ステップ・ワークスバレエ 052-775-2338	前売 500 円 当日 1,000 円 (全自由席)
21 (日)	第 28 回 三代舞踊団選抜公演	14:00～15:30	(株)ダンスプロ 052-973-4188	前売 SS 席 4,000 円 S 席 3,500 円 A 席 3,000 円 当日各 500 円増 (全指定席)
24 (水)	Y's ballet school 4th performance	17:30～20:30	Y's ballet school	1,000 円 (全自由席)
27 (土)	黒沢優子バレエスタジオ	16:00～19:00	黒沢優子バレエスタジオ	前売 1,000 円 当日 1,500 円 (全自由席)
28 (日)	19th Ballet Concert	16:00～18:00	(黒沢)090-8070-4573	前売 2,500 円 当日 3,000 円 (全自由席)
30 (火)	Ballet Concert	17:30～19:30	Ayumi Ballet (岡部)050-3749-7755	無料 要整理券 (全自由席)

★催物は予告なく変更・中止となる場合がありますのでご了承ください。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

なお、主催者の都合により問い合わせ先等を掲載しない場合があります。

☆芸術創造センターの催し物案内やホール・リハーサル室・練習室・会議室等の空き状況はホームページでご覧いただけます。



月の庭
天ぶら・飛騨郷土料理

営業時間
11:30 ～ 14:00
18:00 ～ 22:00
定休日 月・火
芸術創造センター
西 200m
052-935-6110



ランチございます。
昼飲み大歓迎!



いけす
漁場

芸術創造センター
南150m



<http://www.amano-ltd.co.jp/>



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>



(公財) 名古屋市文化振興事業団 [芸術創造センター]
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目3番27号
TEL 052-931-1811 FAX 052-931-7145

地下鉄東山線「新栄町」駅 1 番出口より 北へ徒歩 3 分
地下鉄桜通線「高岳」駅 3 番出口より 東へ徒歩 5 分



名古屋市芸術創造センター

トキメキ通信

7 2024
月号

～芸術文化の創造拠点!あなたにトキメキを～



◆公演レポート
6/13開催「Para★Dogsスペシャル
ヨーロッパ・ジャズ・ライブ」

◆芸術創造センター 資料室だより vol.1

◆ご利用団体様のご紹介
エルメスダンスカンパニー

◆今月のうた -幻桃短歌会-

海外で愛された薩摩様式のやきもの
サツマの輝き

2024 年 5 月 24 日 金
2024 年 8 月 25 日 日

トキメキ通信持参で 100 円引!

【開館時間】10:00～17:00
(最終入館 16:30)
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)
夏期(8/13～8/16)

横山美術館
TEL: 052-931-0006 芸術センター北側
地下鉄東山線「新栄町」駅①出口より徒歩 4 分



Para★Dogsスペシャル ヨーロッパ・ジャズ・ライブ



6/13(木)は芸創センターで盛大なライブが開催されました。コンサートの様子と、お客様からのアンケートをご紹介します！

公演 レポート

- 深い感動を覚えました。曲に合わせての照明・音響でいつもと違うパドックスを感じました。芸創センターさん、こういったステージを年に1～2回、開催してください！
- パトリック・ロバートみたい！ステキ！
- 演奏者一人一人の個性を大切にしたライブ。これからの社会の在るべき姿だと思いました。
- 初めてだったが行きたいと思っていたライブだったのでごく幸せな気分でした！
- とてもよかったです。客席にまで降りて演奏してくださり、うれしかったです。
- 大変楽しいステージでした。来てよかったです。
- 心が動かされる素晴らしい演奏でとても楽しいひと時を過ごせた。
- めちゃくちゃよかったです！感無量でした。



芸術創造センター資料室だより vol.1

芸術創造センター4階にある資料室には、
・地元における芸術公演等の資料
・地元芸術家に関する資料
・芸術文化に関する雑誌・同人誌・図書
・地元芸術文化に関する新聞記事の切り抜き
などの資料が所蔵されており閲覧できるようになっています。
そんな資料室をご紹介します！新コーナー！
第1回目は所蔵資料の中から特に貴重な「桜画廊」についてです。

★桜画廊とは…画廊主は藤田八栄子氏(1910～1993)。1961年から1993年まで、30年以上にわたって、地元作家の久野真、庄司達、浅野弥衛、国島征二などの作家の作品を紹介し続け、長く名古屋のモダンアートシーンの中心的役割を果たした、名古屋における現代美術専門の代表的な画廊。

★所蔵資料…展覧会図録、案内状、新聞記事、写真 など



芸術創造センター資料室
開室時間：芸術創造センター開館日の午前10時～午後5時

芸術創造センター

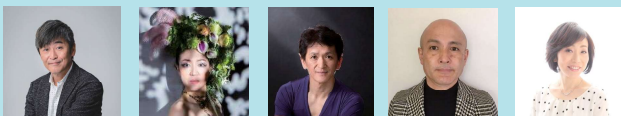
利用無料

芸術アドバイザー相談窓口

芸術活動についての相談・質問をお寄せください。

「芸術活動に関心があるけど、何からはじめたらいいかわからない」「どこに相談したらいいかわからない、こんなことで相談していいのかためらってしまう」という方は、はじめの一歩としてぜひ芸術アドバイザー相談窓口にご相談ください。
各分野の第一線で活躍する芸術アドバイザーが相談に応じます。また、相談内容のポイントを整理するお手伝いもしています。

申込みはこちらの
webフォームから！



左から、佃典彦氏(劇作家、演出家、俳優)、やまもとかよ氏(ソプラノ歌手)、大寺資二氏(バレエダンサー)、逆瀬川浩氏(舞台監督)、梶田美香氏(名古屋芸術大学教授)

花を愛する職員Kの 今月の HANA



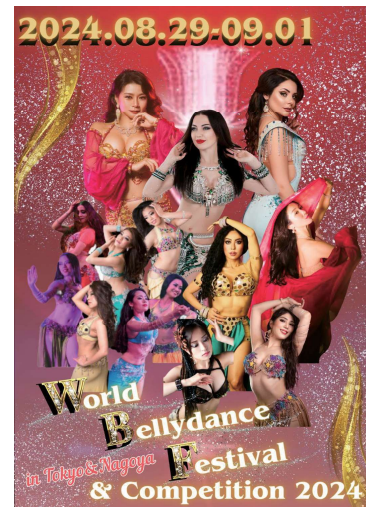
花材…ナツハゼ、シャクヤク、レースフラワー、ナルコラン
ナツハゼのきれいな緑の葉とピンクのシャクヤクで、爽やかな初夏を表現しました。

芸術創造センターご利用団体のご紹介

エルメスダンスカンパニー



エルメスダンスカンパニーは、キューバー人ダンサー、エルメス・マレロが主宰、名古屋伏見にメインスタジオを構え、東海地方を中心に、サルサ、ベリーダンスをはじめ様々なジャンルのダンスレッスンを行う総合ダンススクールです。
レッスンの他にも各種イベント等でパフォーマンスも披露、またイベントなどのプロデュースも行っています。



今年8月に行うWorld Bellydance Festival & Competition 2024は、国内外から有名ベリーダンサーを招き、2013年からほぼ毎年開催しているビッグイベントです。コロナ禍の中止やオンライン開催などを経て、昨年ようやく海外ダンサーを再び名古屋に招くことができるようになりました。参加者も日本国内にとどまらず、海外からの参加者も年々増えています。

World Bellydance Festival & Competition 2024 8/29~9/1
日時：8/31(土)、9/1(日) 会場：芸術創造センター

今月のうた

クラクションで答えて孫娘のバス発ちぬ
辞儀する祖母の背中の光

幻桃短歌会 鈴木 稔朗

バス停に全力疾走する高校生の孫娘。その背を追う祖母。乗り込むのを
見届け、バスに一礼。軽いクラクションの答礼。心通う朝。一心に見送る
優しい背中。さす朝日は、車中からは、慈愛の後光に見えている。きっと。

「今月のうたは、芸術創造センターを」利用いただいている団体様に月替わりで協力いただいています。



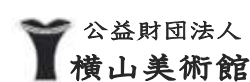
早川館長の今日この頃 ～ 同期の退職 ～

いまから25年前に入社した私の同期入社は3人。年齢も性別もバラバラですが、入社以来、3人で飲みに行ってはお互い仕事の悩みを打ち明けるなど大切な仲間でした。
しかし、その別れは突然やってきました。去年の年末、同期のひとりから、「今からそっちに行ってもいい？」と電話があった時から嫌な予感していました。
いやな予感は的中し、「早川さん～、オレもう会社やめるわー。」と言われ、私は「まじかあー。」としか言葉が出ませんでした。もう本人が決めたことですので引き留めることはせず、この先辞める時期ややめた後は何をするのかなど具体的な話をしたことを憶えています。

私より4つ年下の彼はおなじ館長職として相談し合える中で、独り身

となった彼が最近新築した自宅で昼間から酒を酌み交わすこともあり
ました。入ってすぐの部屋は壁三面が本棚になっており、文庫本の小説が床から天井までぎっしり。その部屋で、仕事の話はほとんどせず、お互いの青春時代に流行った曲や、読んだ本の話をしてながら豚しゃぶを着に飲んでから1年も経っていませんでした。

早いものでもう7月。いまはまだ、4月から新たな仕事にチャレンジしている彼が、この数か月で新しい職場になじみ、楽しく充実した日々を過ごしていることを心から願っています。そしてまたともに酌を交える日が来れば良いなと思っています。



トキメキ通信持参で、古川美術館・爲三郎記念館：共通入館料200円引。 ヤマザキマザック美術館：入館料100円引(5名まで)。文化のみち二葉館：団体入館料金を適用。